

この度は、本製品をご採用いただき誠にありがとうございます。



SAFE METER OSM-501

1

運用方法に応じて、必要となる操作が異なります。必要な項目をよく読んでご使用ください。

①パソコンを使う場合

SAFE METER Local アプリケーションを使うと、走行データをパソコンに転送・CSV保存することができます。アプリと書かれた項目をお読みの上、ご使用ください。



②パソコンを使わない場合

本体の画面に表示された値を用紙に転記する運用方法です。転記と書かれた項目をお読みの上、ご使用ください。



2

安全上のご注意... アプリ 転記 ...4~5
アプリケーションの使用環境... アプリ ...6
アプリケーションのインストール... アプリ ...7~8
OSM-501 本体への電池の装着... アプリ 転記 ...9~10
SAFEMETER OSM-501 の登録... アプリ ...11~13
ペアリング... アプリ ...14~16
登録の削除... アプリ ...17
走行データの転送... アプリ ...18~20
走行データの保存先... アプリ ...21
OSM-501 の設定変更... アプリ ...22~25
OSM-501 機器について... アプリ 転記 ...26
パソコンを使わない運用... 転記 ...27
設置と運用... アプリ 転記 ...28
表示... アプリ 転記 ...29~31
OSM-501 保証書... アプリ 転記 ...32

3

- 危険: この表示は注意事項を守らないと、火災や事故などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
警告: この表示は注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり車に損害を与えたりすることがあります。



取付上の注意

- 危険: 運転や視界を妨げる場所に設置しないでください。また、国土交通省の定める安全基準(道路運送車両の保安基準)にそくわない設置はしないでください。
警告: エアバッグの動作を妨げる場所に設置しないでください。

- 警告: 本製品を確実に取り付けてください。走行中にはずれたり、落下するなど事故やけがの原因になります。万一落下した場合は、周囲を確認してから安全な場所に停車してください。
警告: 電池は専用用品を使用してください。また、専用電池は絶対に充電はしないでください。
警告: 本体や専用電池の改造や分解をしないでください。火災や感電の原因になります。

4

ご使用上の注意

- 危険: 運転中に操作しないでください。必ず安全な場所に停止し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
警告: 本製品を濡らしたり、濡れた手で操作しないでください。感電や故障の原因になります。
警告: 本製品に強い衝撃を与えないでください。走行中にはずれたり、落下するなど、事故やけがの原因になります。
警告: 火を近づけたり、火の中に投げ込まないでください。電池が破損し非常に危険です。また、火災やけがの原因になります。
警告: 機器本体の温度が85℃を超える状態が想定される場合、自動車内に放置しないでください。電池が液漏れを起こす恐れがあり、火災の原因になります。

5

使用可能な PC

Bluetooth 4.0 が搭載された PC をご準備ください。インターネット環境も必要です。



Windows OS : Windows 10 以降

注 Windows10 以前の OS (Windows7, 8 など) には対応していません。

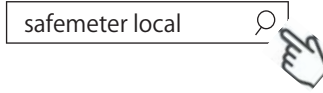
6

アプリケーションの入手先

Windows ストアにアクセスします。
https://www.microsoft.com/ja-jp/store/apps/windows

もしくは、アプリケーションの検索

Windows ストアで、“safemeter local” で検索をします。

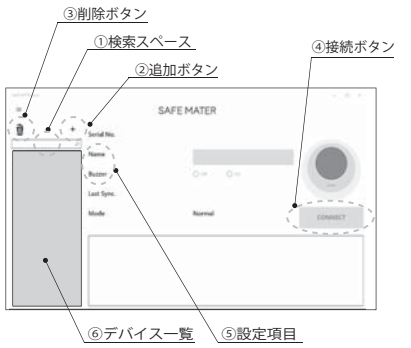


アプリケーションの入手



7

アプリケーション画面と操作ボタン



- ①検索スペース: 登録を行った SAFE METER OSM-501 の検索
②追加ボタン: SAFE METER OSM-501 の追加・登録
③削除ボタン: SAFE METER OSM-501 の削除
④接続ボタン: 走行データの取り込み
⑤設定項目: 設定変更できる機能(名前、ブザー音)
⑥デバイス一覧: デバイス一覧

8

SAFE METER Local アプリケーションのご使用に当たり、OSM-501 本体に電池を装着します。

OSM-501 本体の専用電池は、本体個装箱に付属しています。

カバーを取り外します



コイン等を用いカバーロックピスを緩めます。



カバーロックピスが浮き上がればロックは解除されます。



カバーを矢印方向に少し回し、外します。

9

電池を装着します



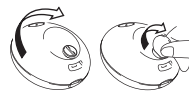
電池のコネクターを本体に差込みます。



電池コードがネジ穴を塞がないようにケースの凹みに収納します。電池コードの(青)を左/(赤)を右に配置します。



カバーの4ヶ所の爪を本体の凹みに合せます。



カバーを矢印方向に回します。カバーロックピスを締め、カバーを固定します。

10

SAFE METER Local アプリケーションでご使用になる OSM-501 の追加・登録を行います。

PC の設定



PC の“設定”より、Bluetooth を接続にします。

OSM-501 を起動します



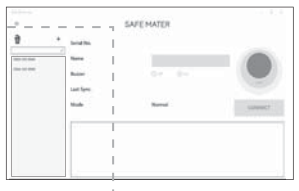
OSM-501 の表示ボタンを押し、OSM-501 を起動します。



シリアルNo.(下4桁)が表示されます。

11

アプリケーションに OSM-501 の追加を行います



+ 追加ボタンをクリックします。



バースのスクリーンが始まります。

12

OSM-501 の登録



デバイス一覧に登録を行う OSM-501 のシリアル No.(下4桁)が表示されます。

表示されたシリアル No. をクリックします。

Passcode の表示画面



“CONNECT (接続ボタン)” をクリックします。



Passcode を入力する画面が表示されます。

13

Passcode の表示



OSM-501 の液晶表示部に Passcode (6桁) が表示されます。

Passcode の入力



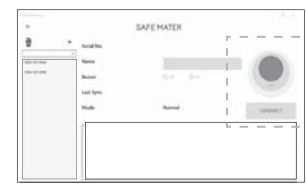
OSM-501 の液晶表示部に表示された Passcode をアプリケーションに入力します。



“次へ” ボタンをクリックします。

14

データ転送



“CONNECT (接続ボタン)” をクリックします。



100% でペアリングが完了します。

注 正しくペアリングができなかった場合は、9 ページの“OSM-501 の登録”からやり直します。

15

OSM-501 の時計合わせ



もう一度、“CONNECT (接続ボタン)” をクリックします。

PC から OSM-501 に正確な時刻の書込みが行われます。

登録の完了です。

注 PC 1台に最大 100 台の OSM-501 がペアリング可能です。

16

## 登録の削除 アプリ

登録を行った OSM-501 の削除を行います。

### ■削除する OSM-501 を選択



アプリケーションのデバイス一覧から削除する OSM-501 をクリックします。



続いて、アプリケーションの削除ボタンをクリックします。

削除の完了です。

17

## 走行データの転送 - 1 アプリ

毎日、もしくは1週間に1程度、走行データをPCに転送してください。

### ■転送する OSM-501 のシリアルNo. を選択します



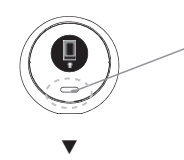
デバイス一覧から走行データを転送する本体のシリアルNo. (13桁) を選択します。



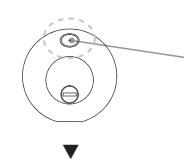
18

## 走行データの転送 - 2 アプリ


### ■OSM-501 を起動し、送信ボタンを押します



OSM-501 の表示ボタンを押し、OSM-501 を起動します。



次に、送信ボタンを押します。



OSM-501 は送信状態になります。

④ 走行中、データの送信はできません。

19

## 走行データの転送 - 3 アプリ

### ■走行データを転送します



“CONNECT (接続ボタン)” をクリックします。



走行データの転送が始まります。



100%になれば転送は完了です。

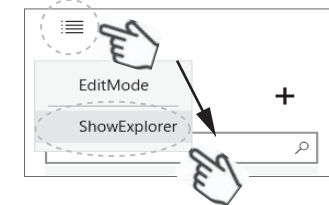
20

## 走行データの保存先 アプリ

走行データはPC内の下記に保存されます。

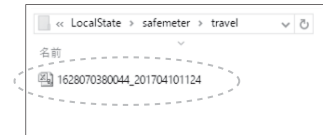
### ■画面右上のメニューボタンをクリックします

ポップアップされた“ShowExplorer”をクリックします。



### ■データの保存先

LocalState > safemeter > travel



保存形式 : CSV 形式  
ファイル名: シリアル番号+年月

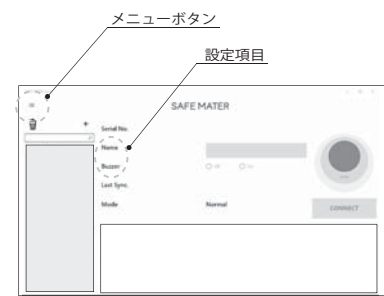
21

## OSM-501 の設定変更 - 1 アプリ

アプリケーションから OSM-501 の設定変更が可能です。

### ■変更項目

- ① Name : ホルダーから取り外した際に表示される名前
- ② Buzzer : 急挙動検知音の On/Off の切り替え



22

## OSM-501 の設定変更 - 2 アプリ

### ■変更時のモード切替



画面左上のメニューボタンをクリックします。



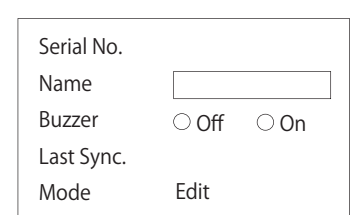
“EditMode” をクリックし、チェック状態にします。

編集モードになります。

23

## OSM-501 の設定変更 - 3 アプリ

### ■Name と Buzzer の変更が可能



- ① Name : 英数 14 文字まで
- ② Buzzer : Off / On の○をクリック

24

## OSM-501 の設定変更 - 4 アプリ

### ■変更が終わったら



画面左上のメニューボタンをクリックします。



“EditMode” をクリックし、チェックを外します。

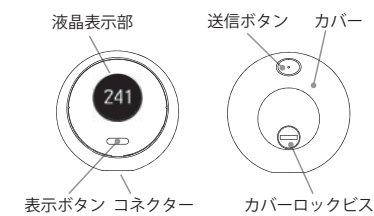
通常モードになります。

25

## OSM-501 機器について アプリ 転記

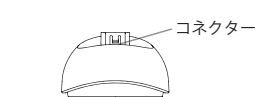
### ■本体 / OSM-501 各部の名称

シリアルNo. (13桁)は、カバー内部と個装箱に記載



### ■ホルダ / OSM-501H 各部の名称

シリアルNo. (8桁)は、ホルダ裏面と個装箱に記載




26

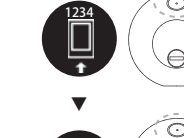
## パソコンを使わない運用 転記

### ■PCモードをスキップ

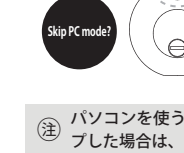
専用アプリケーションを使用せず、本体の画面に表示された走行データを手書きで転記する運用の場合は、パソコンでのペーキングや時計合わせ作業をスキップしなければ正常に動作しません。必ず次の作業を行ってください。



OSM-501 の表示ボタンを押し、OSM-501 を起動します。



シリアルNo. (下4桁)が表示されます。その状態で本体背面の送信ボタンを押します。




Skip PC mode? と表示されたらもう一度送信ボタンを押します。(30秒間ボタンを押さなければ、電源が切れます。)

④ パソコンを使う運用で、誤って PC モードをスキップした場合は、一度電池を抜き差ししてください。

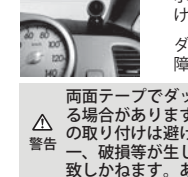
27

## 設置と運用 アプリ 転記

### ■本体をホルダに装着します



④ 装着したまま放置しないでください。




ホルダ裏面の両面テープで取り付けを行います。

ダッシュボードの右端等運転に支障のないところに設置します。


両面テープでダッシュボードが変色したり、跡が残る場合があります。破損しやすいソフトパッド部への取り付けは避けてください。取り付けの結果、万一、破損等が生じた場合であっても、車両の補償は致しかねます。あらかじめご了承ください。

### ■角度の補正が始ります



車の運転を開始すると、設置した角度の補正が自動で始まります。

30分程度の走行(発進・停止)で補正は完了します。



セーフメーターが計測を開始します。

28

## 表示 - 1 アプリ 転記

表示ボタンを押すと順に表示が切り替わります。

### ■スムーズ画面

スムーズな発進、スムーズな停止の連続回数(上段)と過去10回の平均回数(下段)を表示します。

### ■ヒヤリ画面

急操作の回数(上段)と急操作の発生頻度(下段)を表示します。

走行中はスムーズ画面に戻ります。

④ 急操作が0回の場合は『--』と表示されます。

### ■スコア画面

急操作の発生頻度をベースにした点数を表示します。

走行中はスムーズ画面に戻ります。

④ 急操作が0回の場合、総運転時間が20時間になるまでは『--』と表示されます。

29

## 表示 - 2 アプリ 転記

### ■スムーズカウントのリセット

急な操作を行うとスムーズカウントが“ゼロ”にリセットされます。

急な発進を行ったとき

急な停止を行ったとき

急なハンドル操作を行ったとき

### ■スムーズな運転を心がけると

スムーズカウントが100回を超えるたびに“Good!”とあなたを応援します。

30

## 表示 - 3 アプリ 転記

### ■電池残量

電池の残量が少なくなると、画面上部に電池マークが表示されます。新しい電池(製品コード: 88878【税別希望小売価格: ¥850円】)をご準備ください。

電池の残量がなくなると、画面中央に電池マークが表示されます。この状態では機器は動作しません。

※ 電池がなくなってもデータは残ります。

### ■電池交換の方法

電池の交換は8ページ『OSM-501本体への電池装着』に従って行ってください。廃電池は各自自治体の指示に従って廃棄してください。

④ 電池を交換したのち、16 ページ『OSM-501 の時計合わせ』の操作を行ってください。時計合わせしないと使用できません。

④ 電池を交換したのち、27 ページ『PC モードをスキップ』の操作を行ってください。スキップしないと使用できません。

31

## OSM-501 / OSM-501H 保証書

お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年間
お客様	ご住所 〒 TEL
	貴社名
	ご氏名
お買い上げ店	様

④ 保証の範囲  
1. 取扱説明書に記載された正常な状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合は、無償にて修理いたします。  
お買い上げ店もしくは弊社に本書を添えてお申し付けください。  
2. この保証は保証書に記載された製品について日本国内に限り適用いたします。 This warranty is valid only for Japan.

④ 保証の条件  
次に該当する故障は、保証期間中(お買い上げ日より1年)であっても無償にて修理を申し受けることがあります。  
1. あやまった取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障、また故意・不注意による破損に起因する故障。  
2. 災害など不可抗力による破損。  
3. 本書に必要事項の記入が無い場合、また本書の提示が無い場合。

製造元: オスデックス株式会社

滋賀県大津市雄琴 5-8-12  
(TEL) 077-579-8890

5926271 2018.10

MADE IN JAPAN

32